



2022年8月9日

各 位

会社名 株式会社 鳥羽洋行  
代表者名 取締役社長 遠藤 稔  
(コード：7472・スタンダード)  
問合せ先 取締役管理本部長 島津 政 則  
(電話番号 03-3944-4031)

### 中期経営計画「Next Stage 2025」の策定に関するお知らせ

当社グループは、2021年8月20日に公表しました、第73期(2022年3月期)から第75期(2024年3月期)までの期間を対象とする、中期経営計画「Next Stage 2024」の数値目標を改定するとともに、新たに第76期(2025年3月期)までを対象とした、中期経営計画「Next Stage 2025」を策定いたしましたので、お知らせいたします。

なお、この数値目標は、2022年5月11日に発表しました第74期(2023年3月期)の連結業績予想の数値を反映しております。

当社グループでは、経営環境の変化等に対応すべく、引続きローリング方式により中期経営計画を毎年度策定することとしております。

### 記

#### 1. 中期経営計画における数値目標改定の理由

当社グループは、2021年8月20日に公表しました中期経営計画「Next Stage 2024」の数値目標達成に向けて取り組んでまいりました。第73期(2022年3月期)は、国内においては、コロナワクチン接種状況の進展により、個人消費や企業の設備投資マインドが回復基調で推移し、世界的な半導体需要の高まりや、あらゆる産業で生産性向上を目的とした自動化機器・装置類の設備投資が拡大したことから、電気・機械設備製造業に関する得意先への販売が好調に推移しました。海外においても、スマートフォン向け電子部品に関連する得意先へのロボット販売が好調に推移しました。その結果、第73期(2022年3月期)の業績は、中期経営計画の数値目標を大きく上回りました。

このような環境を踏まえ、中期経営計画における数値目標を改定し、新たに第76期(2025年3月期)までを対象とした、中期経営計画「Next Stage 2025」を策定いたしました。

2. 数値目標（連結）

（単位：百万円）

				『Next Stage 2025』		
	第73期 (2022年3月期)			第74期 (2023年3月期)	第75期 (2024年3月期)	第76期 (2025年3月期)
	計画	実績	達成率	計画	計画	計画
売上高	26,500	29,730	112.2%	31,000	33,000	35,000
営業利益	1,390	1,971	141.9%	1,960	2,100	2,250
経常利益	1,490	2,061	138.3%	2,070	2,200	2,350
当期純利益	1,020	1,424	139.7%	1,440	1,530	1,620

以上

※本資料に記載されている内容、計画数値等は発表日現在において当社が入手可能な情報に基づき作成したものであり、当社の将来の内容・業績を保証するものではありません。

# 中期経営計画

## *「Next Stage 2025」*

～新たなステージへ～

2022年8月9日



株式  
会社

鳥羽洋行

# 中期経営計画 策定方針

当社グループは、経営環境の変化等に対応すべく、「ローリング方式」により、中期経営計画を毎年度策定することとしております。

## 中期経営計画 策定スケジュール

	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期
前回発表⇒	「Next Stage 2024」 2022/3月期～2024/3月期				
今回発表⇒		「Next Stage 2025」 2023/3月期～2025/3月期			
来年発表⇒			「Next Stage 2026」 2024/3月期～2026/3月期		



# 1. 目指すべき企業像と経営理念



## ■ (1) 目指すべき企業像

百年の信頼を未来につなげるため、信用第一主義を貫き、産業の発展と地球環境に貢献する企業を目指します。

## ■ (2) 経営理念（社是）

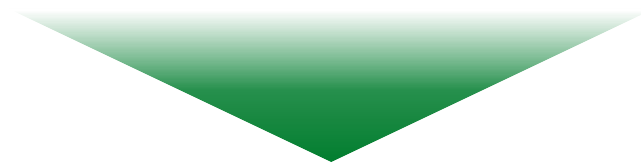
- ・ 当社は社会人類に貢献するためにある。
- ・ 当社は社員の向上と幸福を計るためにある。
- ・ 当社は最大ならずとも最良の会社たることを期する。
- ・ 当社は明朗、勤勉、練達の社員のみをもって結成する。
- ・ 当社は何事にも無理なく、堅実に、しかも進取、独創、能率的に経営し、信用を第一におく。

### (1) 成長市場開拓による更なる業績向上

- 半導体・液晶製造装置/電子部品業界
- 次世代移動通信規格「5G」に関連する得意先
- 自動車業界（CASE / 先進運転支援システム[ADAS] / EVなど）
- 人工知能（AI）/IoT/サーバー（データセンター）
- 三品産業（食品/医療品/化粧品）

### (2) 当社のネットワーク（販売網）の活用

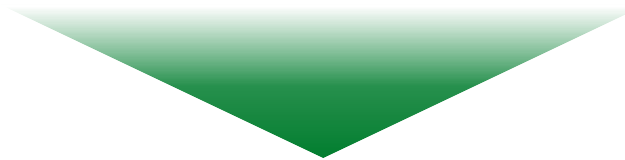
- 新規ユーザー開拓及び新規販売拠点出店検討



### (3) 海外拠点の強化

- 中国、タイ、ベトナムの各国における新規拠点
- 国内と海外拠点の連携強化
- 海外現地法人のコーポレート・ガバナンス強化
- 新規海外進出地域の検討

### (4) 装置ビジネスの強化

- 各業種、業界のお客様に最適なSierを紹介し生産効率アップに貢献する
  - 販売のみならず技術サービスも提供できる技術専門商社として存在価値を向上させる
- 

### (5) 新商材発掘

- ・ 少子高齢化、労働人口減を補う商材の拡充
- ・ 産業用ロボット、協働ロボットのラインナップ拡充

### (6) Eビジネスの拡大・強化

- ・ ネット販売商品の拡充

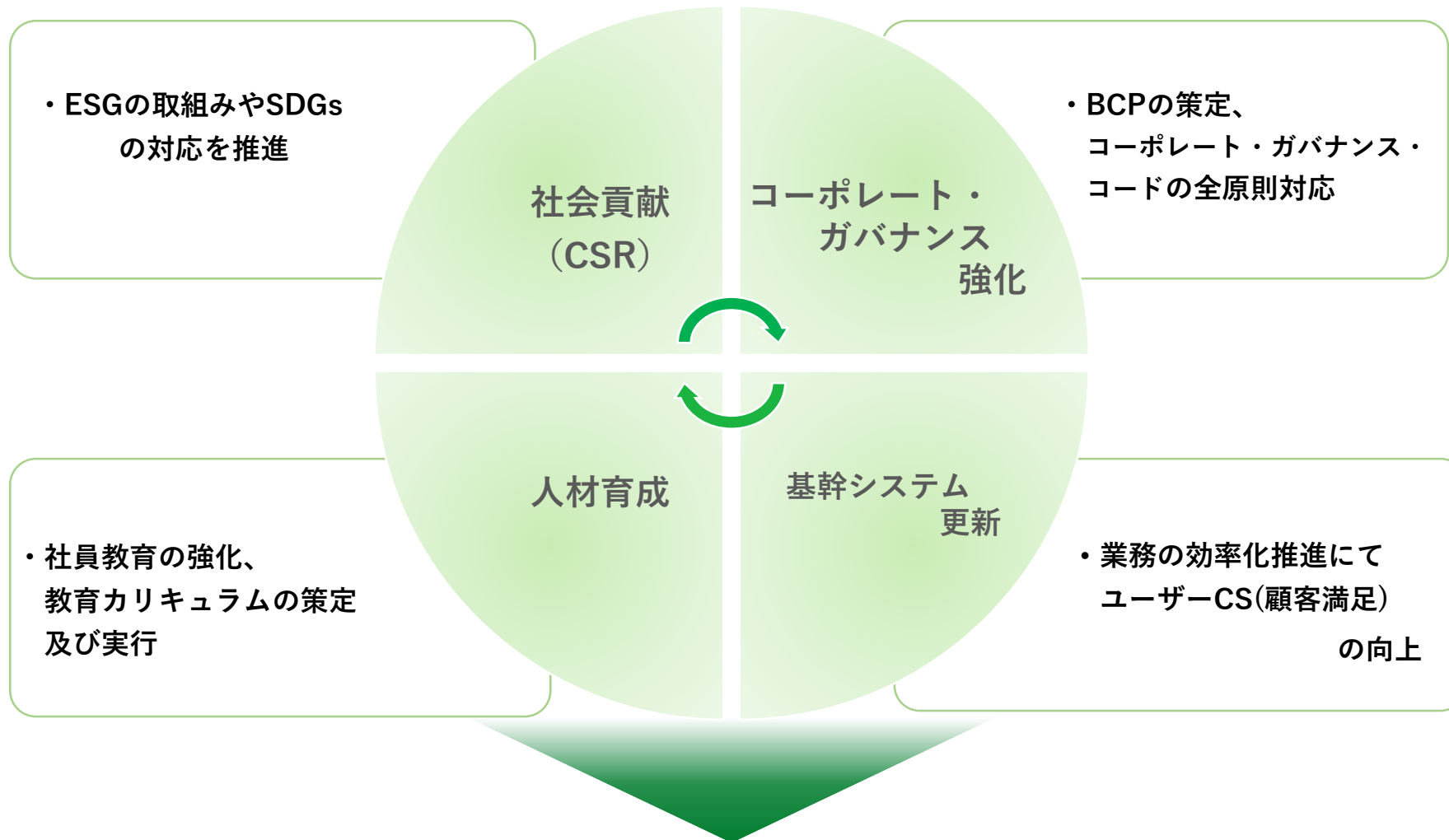
### (7) 総代理権取得（国内外メーカー）

### (8) 新規事業や異業種への進出等、M & Aを含め検討



# 3. 企業価値向上への取組み

## 「Next Stage 2025」 ~新たなステージへ~



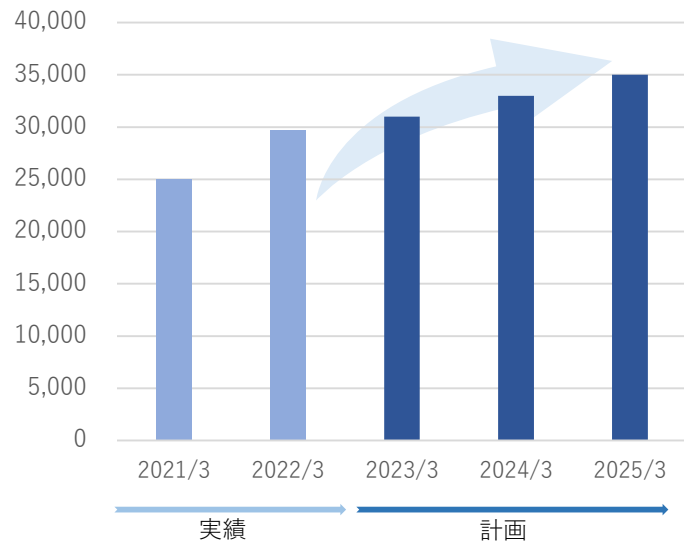
# 4. 数値目標 3ヶ年計画

## 「Next Stage 2025」 ~新たなステージへ~

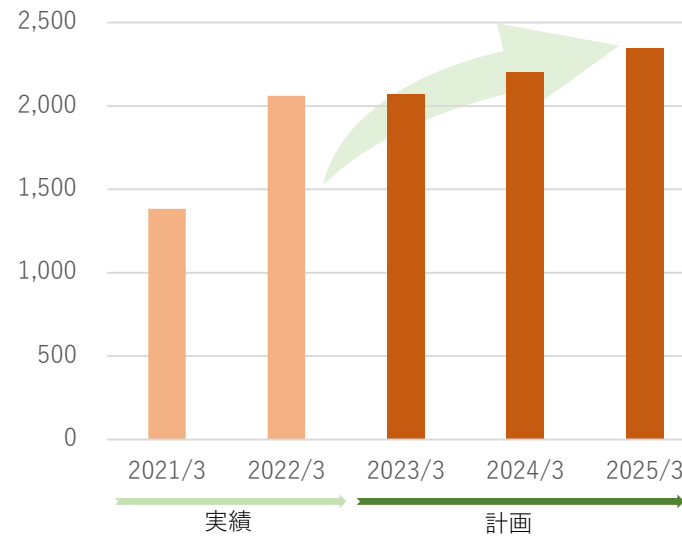
	第73期 (2022年3月期)			「Next Stage 2025」		
				第74期 (2023年3月期)	第75期 (2024年3月期)	第76期 (2025年3月期)
	計画	実績	達成率	計画	計画	計画
売上高	26,500	29,730	112.2%	31,000	33,000	35,000
営業利益	1,390	1,971	141.9%	1,960	2,100	2,250
経常利益	1,490	2,061	138.3%	2,070	2,200	2,350
当期純利益	1,020	1,424	139.7%	1,440	1,530	1,620

単位：百万円

連結売上高



連結経常利益





株式  
会社

鳥羽洋行

※本資料に記載されている内容、計画数値等は発表日現在において当社が入手可能な情報に基づき作成したものであり、当社の将来の内容・業績を保証するものではありません。